

今年もよろしく
お願い申し上げます

昨年は、日本全国で自然災害が多く発生し、被害に遭われた皆様に謹んでお見舞いを申しあげます。

2025年を振り返りますと、異常気象による水不足、高温、品質低下といった農畜産物への影響が大きく、また、生産資材の高騰と高止まりするなかで、農家組合員の皆様には、献身的な努力と卓越した技術で農畜産物の生産をいただいたことに感謝と敬意を表する次第です。

昨今、農業の現場では、労働力不足、離農の加速、農村の過疎化に加え、高齢化という現実に向き合っています。

こうした情勢のなか、昨年からJAいわて花巻の三か年計画である第6次中期経営

ことが食料安全保障ということになります
が、この点に関しては、「令和の米騒動」を
機として値動きへの関心が強まるなか、消
費者の皆様に適正な価格形成への理解を広
げるとともに、農業現場での苦労や価値を
届ける取り組みが必須です。農業者が低所
得ということは、「人・農地」は到底、確保
できるものではありません。

JAグループの使命は、組合員の営農継続支援と地域農業の振興にあります。生産振興を第一に管内農畜産物の販売強化と各企業・関係団体との連携による社会課題への対応が急務となります。

協同組合の原点でもある、地域社会の豊かさを築く「協同の力」への組合員、地域の皆様からの信頼と、地域密着型の事業展開による結集する精神のもと、これからも組合員・地域の皆様とともに未来に向けて事業を展開していく決意です。

日々変化する事業環境へ迅速・柔軟に対応し、J A の経営と組織基盤を強化するとともに、組合員・地域の皆様のくらしを支え、さらに地域が元気になるよう役職員一丸となり、事業展開をはかっています。

今年の干支は、「丙午（ひのえ・うま）」で

今月号の表紙を飾っているのは、「午の張り子」です。豊かな文化を育み、古くからの伝統を守り伝えている「小田島民芸所」の職人が、和紙を使い一つひとつ手作業で「寧につくりあげています。

十二支は、遠い昔から人間社会に欠かすことのできない神様です。人の運勢を12種類の干支に託して時を刻み、福運を運んでくれるありがたい神として私たちには縁の深い結び付きがあります。新年を迎える準備として、その年の守り神である干支の人形を飾ることで、1年間家を守ってくれと言われていました。



■小田島民芸所
花巻市材木町10-20

す。丙は、「陽の火」を表し、午は、真夏の太陽のようなエネルギーを持つとされ、前進・成功・繁栄の象徴とされます。何事にも情熱的でパワフルな年になることを期待したいものです。

結びに組合員・地域の皆様の益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げますとともに、JAいわて花巻への引き続きのご理解とご協力をお願い申しあげ、新年のご挨拶といたします。

計画を進め、「組合員が元氣、JAが元氣」そして地域が元氣！」をスローガンとして掲げ、組合員の農業とくらしを重点取組項目として、持続可能な地域社会の実現に向けて取り組んでおります。2年目である令和8年も引き続きこのスローガンとともに事業を進めてまいります。

2026年の展望については、効率化、持続可能性ということがキーワードになると感じています。2年前に四半世紀ぶりに改正された「食料・農業・農村基本法」による新たな農政の展開と食料安全保障の強化、特に国内で消費する農畜産物は、できる限り国内で生産するという考えが込められている「国産国産」の推進、世界各国（G7諸国）のなかで最も低いとされる、我が国の「食料自給率」の向上が課題となっています。国内の農業生産の増大と輸入や備蓄を組み合わせて食料の安定供給を確保する

職員一同	千田淳	大里政純	佐々木能子	小田島保	齋藤俊一	昆正	小原和也	高橋義也	畑山えり子	菊池千里	吉田正志
理事	理事	理事	理事	常勤監事	代表監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事

[illegible]